

平成24年度元気な大和っ子を育む学校表彰 受賞校一覧

小 学 校

○知事賞 橿原市立真菅北小学校

○教育委員会賞 ・奈良市立二名小学校
 ・香芝市立三和小学校
 ・吉野町立吉野小学校
 ・十津川村立平谷小学校

中 学 校

○知事賞 香芝市立香芝北中学校

○教育委員会賞 ・奈良市立若草中学校
 ・五條市立五條東中学校
 ・御所市立葛上中学校
 ・吉野町立吉野中学校

平成24年度元気な大和っ子を育む学校表彰【知事賞】

学校名	檀原市立真菅北小学校
取組名	「イキイキ真北っ子 ～なかまと共に、自ら運動に夢中になって親しむ子どもの育成を目指して～」
目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇全64項目のうち、80%(51項目)以上を奈良県平均以上にする(特に、敏捷性や柔軟性)。 ◇C評価以上の児童を70%以上にする。 ◇外遊び(運動遊び)に親しむ児童を70%以上にする。
特色	<ul style="list-style-type: none"> ◇継続的な業前運動の取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「パワーアップローテーション」(毎週火曜) 全校でクラスごとに、様々な運動遊び(20種目)を毎週ローテーションして実施 ・「大縄跳び」(毎週木曜) 全校でクラスごとに大縄跳びを実施 ◇全校体制による体力向上の取組の実施 「体力向上推進委員会」を全教職員で組織 ◇体育授業の充実 毎時、課題である「柔軟性」「敏捷性」を高める運動を「体力を高めるための3分間運動」として取り入れている。 ◇食育との連携 給食を完食した児童に対する「パーフェクト賞」の実施
選定理由・特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ◇「パワーアップローテーション」「大なわ」及び体育委員会による外遊びの紹介等、週3回の取組が継続的に進められている。 ◇体力向上推進委員会を全教職員で組織し、授業・環境・啓発等の役割を計画的に進めている。 ◇学校訪問では、活気ある児童の姿と職員の協力体制が見られた。 ◇体育の授業では、課題である「柔軟性」「瞬発力」を高める運動を3分間運動として毎時取り入れている。 ◇音楽の有効的な活用が見られた。 「パワーアップローテーション」や「3分間運動」などを実施する際、運動と音楽を組み合わせることで、児童が楽しみながら活動できる内容となっている。 ◇体力向上に向けた食育での取組として、給食の残食を減らす取組(パーフェクト賞)が実施され、残食率の低下の効果がみられる。

学校名	香芝市立香芝北中学校
取組名	「Hop! Step! Jump!」
目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇活動場所・時間を工夫して、体力向上を目指す。 ◇長座体前屈において、一人5cm向上させる。 ◇立ち幅跳びにおいて、一人10cm向上させる。
特色	<ul style="list-style-type: none"> ◇年間を通じた継続的な体力向上に向けた取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・クラスボールの配布(5月) ・夏季休業期間中における柔軟体操の奨励 ・朝の長距離走練習(11月) ・昼休みのなわとび練習(1月) ◇体力を高める運動の継続実施 自校の課題である「柔軟性」「瞬発力」を高める補強運動を、様々な機会(学年集会、授業、部活動、各休業期間中)に実施 ◇部活動の活性化に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・活動場所を確保するため、地域の体育館やグラウンドの定期的な活用
選定理由・特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ◇クラスボールの配布(5月)、朝の長距離走練習(11月)や昼休みのなわとび練習(1月)など体力向上に対し、生徒・教職員が組織的に取り組んでいる。 ◇体育教科の取組として、各授業内における体力を高める運動を非常に重視しており、全クラスで重点運動を継続的に実施している。 ◇昨年度の新体力テストの総合評価では、全国平均・奈良県平均を上回っている。 ◇部活動加入率(文化部含む)が87%。また、加入していない生徒の約1割が地域社会のスポーツクラブ等に参加している。

平成24年度元気な大和っ子を育む学校表彰【教育委員会賞・小学校】

	奈良市立二名小学校	香芝市立三和小学校	吉野町立吉野小学校	十津川村立平谷小学校
取組名	「運動大好き！たくましい二名っ子の育成 ～一人一人の体力づくり向上の取組を通して～」	「めざせ日本一 みんなでつくろう健康のわ」	「よしのっ子のびのびプラン ～いちにのさんパート3～ めざせ日本一」	「運動大好き ひらたにっこ」
目標	<p>体育科の授業研究を年に3回行う。同時に体育的行事や休み時間等での外遊び支援の工夫改善、さらには場の設定(遊具等)の工夫改善に取り組む。子どもたちが運動に親しみ、体を動かす喜びを味わうことを通し、その結果として体力テストで7種目以上、県平均を上回ることを目標とする。</p>	<p>◇全校児童が鉄棒運動で逆上がりができることを目指す。(今年度の目標は1年生40%、2年生50%、3年生、60%、4年生70%、5年生80%、6年生100%)</p> <p>◇体力テストで全種目のTスコア平均50以上を目指す。(バランスの取れた体力・運動能力を身に付けさせる)</p> <p>◇休み時間、外遊びに出る児童を全体の80%以上に引き上げる。</p>	<p>◇教科体育の充実◇業前時間に「5分間走」を年間130日以上実施する。</p> <p>◇業間休み、昼休みに運動場で遊ぶ児童の割合を90%以上にする。</p> <p>◇全種目の全国平均値到達をめざす。</p>	<p>全学年男女合わせて108種目中80種目以上で県平均を上回る(平成23年度は60種目が上回っている)</p>
特色	<p>◇外遊びの奨励 ・全校縦割りを活用した運動 ・休み時間の体育用具貸し出し ・「二名アドベンチャー」(遊具遊びの奨励) ・「先生も遊ぼう」</p> <p>◇体育科の授業研究の充実</p> <p>◇教職員の全校体制による組織的な取組として実施</p>	<p>◇継続的な取組の実施 1年間通して「朝のさわやかタイム」を実施(始業後の朝の時間帯を利用した、全校でのかけ足や縄跳びの実施)</p> <p>◇教科体育の充実 ・大学と連携し、器械運動に全校でチャレンジする取組を行う「鉄棒名人」、「跳び箱・マット運動名人」 ・年間を通して「体づくり運動」を取り入れる ・校内研究授業、自主公開研究授業の実施</p> <p>◇外遊びの活性化 外遊び集会、縦割り遊び</p> <p>◇体育的行事の充実</p> <p>◇各種記録会・大会への参加の促進</p>	<p>◇業前活動としての体力づくりの継続的な実施 朝の「5分間かけ足」年間130日以上実施(1周150mのトラックを個々の目当てに応じて走り通す) ※雨天時は「体づくり運動」を体育館で実施</p> <p>◇芝生の運動場を生かした外遊びや授業、行事の充実</p> <p>◇年2回の体力テスト実施</p> <p>◇家庭・地域との連携 親子で軽スポーツを楽しむ「ふれあいフェスタ」の開催</p>	<p>◇朝の業前活動における体力向上の取組の継続的な実施(毎週月・水曜)「ゴーゴータイム」</p> <p>◇一輪車を活用した体力づくり 一輪車を全児童数分購入し、利用を進めている。「一輪車検定」で段階的な目標を提示。</p> <p>◇陸上クラブを通した陸上の技術指導 放課後を利用しての陸上クラブを創設し、週2日実施。</p> <p>◇ほとんどの児童がバス通学で、持久力に課題があると分析し、取組を企画・実施。</p>

平成24年度元気な大和っ子を育む学校表彰【教育委員会賞・中学校】

	奈良市立若草中学校	五條市立五條東中学校	御所市立葛上中学校	吉野町立吉野中学校
取組名	「体力向上いきいきプラン」	「アクティブ東中生― 主体的に健康・体力向上に取り組む生徒の育成 ―」	「マッスルプロジェクト ～ It's a katsujo style～」	「明日へ！鍛え合いプロジェクト Part2 運動が楽しめる集団づくり～」
目標	年度当初に行った体力測定の数値を各学年の課題に応じた数種目を3学期に再測定し、10%の記録の向上を目標にする。	◇全校生徒の体力テストの結果がC判定以上になることと、A判定が一人でも多くなるように体力向上を図る。 ◇「運動・スポーツや生活の仕方に関するアンケート」の結果を踏まえ、 ①運動やスポーツが好きな生徒を80%以上 ②1日の運動・スポーツの実施時間が2時間以上を60%以上 ③運動部の加入率を70%以上 ④11時までに就寝する70%以上 ⑤7時までに起床する85%以上 ⑥朝食を毎日食べる100%	◇体力のさらなる向上:体力テスト各種目のTスコア1以上向上達成 ◇弱点の克服:「握力」のTスコア50以上達成◇運動習慣の確立:「週3日以上運動する生徒」の男子75%以上達成、女子60%以上(現状維持)達成 ◇食育の充実:「朝食を毎日食べる生徒」の合85%以上の達成	◇体育の授業での重点題材の設定、体づくり基礎トレーニング導入を行い、運動に向かう意欲を高める。 ◇特色ある健康安全・体育的行事を計画し、生徒のモチベーションを高め、積極的参加をめざす。 ◇部活動毎にトレーニングメニューを作成し、運動の効果を正しく理解させる。 ◇地域の体育的行事に積極的に参加し、運動する機会を多くさせる。 ◇体力テスト全種目での全国平均値クリアをめざす。全国平均を下回る種目が現在48種目中28種目である。これを5カ年計画で全国平均値をクリアする。
特色	◇体育授業の充実 体づくりトレーニング、体幹トレーニングの導入 ◇地域・PTA・保護者との連携 ◇年2回の体力テストの実施 ◇運動部活動の活性化	◇運動部活動の活性化 外部講師による専門的な指導 ◇体育授業の充実 授業の導入で体力を高める運動(腕立て・腹筋・背筋等)を実施 ◇体力向上・健康・生活習慣に関する啓発及び指導	◇体育授業の充実 ・グループ学習を軸とした協働的な授業づくり ・補強運動の継続実施 ・武道(少林寺拳法)の充実 ◇年に3回の体力テストの実施 ◇食育の充実 給食完食デー、毎日朝食運動	◇部活動における体力向上の取組の充実 ・部活動毎にトレーニングメニューを作成 ・部活動毎に体力テストの重点種目の再テストを実施 ・文化系の部活動においても「基礎体力向上トレーニングメニュー」を作成 ◇体育授業の充実 授業の導入段階で「体づくり基礎トレーニング」を実施 ◇体育的行事の充実 ・冬季の「耐寒訓練」(業前20分間走) ・体育大会における「吉中ソーラン」 ・地域スポーツイベントへの参加